ボーリング柱状図

調査名	一級河川 江の川水系 大内谷川 測量設計地質調査業務委託(通常砂防・単独)
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	2	3	2	2	7	5	6	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	Bor.2	調査位置	庄原市濁川町大字川西			北緯	34° 52' 38.6873"
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所	調査期間	令和元年10月 1日～ 令和元年10月 3日			東経	132° 57' 18.1677"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	228.92m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D1-B	ハンマー落下用具	自動落下
総掘進長	5.00m								エンジン	ヤンマーNFD13	ポンプ	東邦地下工機BG-3

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	228.22	0.70	0.70		礫質土	褐灰			径5～60mm前後の角礫主体。 礫間は細粒砂が優勢。
1	227.42	0.80	1.50		シルト質砂	暗褐灰	非常に緩い		植物根を含む腐植土。 細粒分が多く粘性を帯びる。
2	226.32	1.10	2.60		玉石混り砂	淡黄灰	密な		コア長15cm前後の玉石を混入し、 細粒分を含む砂。 やや粘性を帯びる。
3					玉石混り砂礫	灰	非常に密な		密実な玉石混り砂礫。 コア長10～25cm前後の岩片硬質な玉石を密に混入する。 径5～60mm前後の亜角礫が主体で多量に含む。
4									
5	223.92	2.40	5.00						
6									
7									
8									
9									
10									

粒度試験による土質区分

孔内水位／測定月日：10/3 2.00

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	1/20	1/15		2/35	2
1.50					
2.15	11/10	10/10	14/10	35/30	35
2.45					
3.05	21/10	29/10		50/20	50以上
3.25					
4.05	24/10	26/7		50/17	50以上
4.22					
5.00	貫入不能			貫入不能	50以上

原位置試験

深度 m	試験名及び結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法

室内試験

掘進月日：10/1、10/2、10/3